

# メンテナンス・ニュース

NO. 3

## Windows 版 ARFS 入れ替えのお奨め

### 1、はじめに

多段送り機能付きラインシステムの自動演算機能とスケジュール運転機能を持った“多段送り自動演算システム”(ARFS)は、発売から7年が経過しました。この間、コンピュータはめまぐるしい変化を遂げ、多くのパソコンがMS - DOSからWindowsへ移行したことで、このARFSも今年5月に“ARFS - Win”が発表となりました。さて、これに平行してMS - DOS版のPCとして採用してきました NEC 製のPC9800シリーズは、昨年2000年5月11日の商品発表を最後に新商品の販売が終了、2002年5月でソフトウェアを含めたDOSシステムは出荷も終了することになりました。当社といたしましても、既納入機械の保守サービスが困難な状況となるため、今後の対策として“Windows 版 ARFS”への入れ替えをご提案します。

### 2、入れ替えのメリット

Windows 版ARFSはDOS版で抱えていましたデータ容量の制限を解消し、操作性の向上を計り、よりユーザフレンドリーなシステムとなりました。さらに、Windows のネットワーク(LAN)機能を利用することにより、事務所でパソコンから現場パソコンの運転スケジュールや運転実績の管理を行うことが出来るようになります。このような点でWindows版はお客様での合理化に必要な不可欠な機能の一つを備えています。

### 3、主な内容

DOS版からWindows版への改造は、既納入機のシステム構成により異なりますが、少なくとも以下の変更が必要となります。

PC制御盤：(PC制御盤の筐体はそのまま使用する。寸法の確認が必要です)

- ・ パソコン一式(Windows対応のパソコンとフィーダ接続用の基板)入れ替え
- ・ ソフトウェア“ARFS-Win”の組み込み
- ・ ケーブル交換
- ・ その他(オプション選択)
- ・ バックアップ電源の組み込み
- ・ 補助記憶装置(データのバックアップ用)の組み込み

(旧DOS版データの入れ直しはお客様にて入力をお願いいたします)

フィーダ制御盤：

- ・ ラダープログラムの改造

以上